

名古屋学院大学の「3つのポリシー策定の基本方針」

名古屋学院大学は、建学の精神『敬神愛人』及び教育目標のもと、ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）、カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施方針）及びアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）の3つのポリシーを定める。この3つのポリシーを策定するうえでの全学的な基本方針を次のように定める。

1. 策定方針

- 3つのポリシーは、建学の精神『敬神愛人』を尊重し、高い志と豊かな国際感覚を備えた、社会の発展に貢献する人材を育成できるように策定することとし、学則に定める教育研究上の目的を反映すること。
- 教育研究の特性を踏まえ、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー及びアドミッション・ポリシーを一貫性・整合性あるものとして策定すること。
- 3つのポリシーが、内部質保証における本学の教育活動において確立するための指針となるよう位置付けること。
- 本学学生及び教職員、また、社会に対し、本学がどのような教育を行っているかが十分に理解できるよう、分かりやすい内容と表現とすること。

2. 策定単位

- 大学及び学科・専攻（学位プログラム）を策定単位とする。

3. 3つのポリシー相互の関係

- ディプロマ・ポリシーは、建学の精神及び教育目標に基づき、どのような能力を身につけた者に学位を授与するのかを定める基本的な方針であり、学生の学修成果の目標となるものである。
- カリキュラム・ポリシーは、ディプロマ・ポリシーに定める能力を学生が身につけるうえで必要となるカリキュラム（教育内容、教育方法、学修成果の評価等）を定める基本的な方針である。
- アドミッション・ポリシーは、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ、求める学生像、入学時まで身に付けるべき知識・能力及び入学者選抜等について定める基本的な方針である。